

専門医試験問題作成委員会

前委員長 渡邊 裕

日本老年歯科医学会の専門医制度は、高齢者に必要とされる歯科医療に関連する専門的な知識と診療技術を有する歯科医師を養成することにより、国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的としています。専門医試験問題作成委員会は1年に1回、認定試験実施委員会が行う専門医認定試験の問題を作成する委員会です。専門医認定試験は1年に1回、代議員から多肢選択式の問題を作成提出していただき、それらを専門医試験問題作成委員会でブラッシュアップし、そのなかから分野に偏りがないよう50問を抽出し作成します。平成28年度に行った試験の平均は68点で、平成29年度は77点でした。

専門医制度は始まって約5年経過していますが、現在専門医は184名で、3,500名を超える会員のいる学会としてはまだ十分とはいえません。また地域の偏りも大きく、専門医の約半数は東京都、神奈川県、千葉県機関所属となっています。会員の皆様、特に関東以外の機関に所属されている先生方にはぜひとも専門医の取得を目指していただきたいと思います。

最後に毎年試験問題を作成、ご提出いただいている代議員の先生方に、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。